

ボードをめがけビーンバッグを投げ、得点を競う的入れゲームです。子どもからお年寄りまで、車椅子の方でも楽しめるバリアフリーなゲームで、場所を選ばず屋内外で楽しめます。

## 場 所 (屋 内)

- 体育館・公民館など

## 人 数

- チーム戦 (2 人対 2 人)
- ※ 基本はチーム戦ですが、1 人対 1 人の個人戦も可能

## 用 具

- 傾斜ボード (86cm×56cm×6cm) プラスチック製
- ビーンバッグ(赤色・青色) 1 個 240g

## 競技方法(主なルール)

- ① ジャンケンをして勝ったチームが優先的に「先攻・後攻」または「場所 (ボードの右側・左側)」のどちらか 1 つを決めることができます。
- ② 先攻のプレイヤーがボードを目掛けてバッグを投げることでゲームがスタートします。投げる際にスローイングライン (自分側ボードの前面の延長線上) を踏み越えてはいけません。バッグは各チームが交互に投げます。
- ③ それぞれのチームが 4 個のバッグを交互に投げ、すべて投げ終わったら 1 ラウンドを終了し、得点を計算します。
- ④ 次のラウンドは、もう一方のサイドのプレイヤーが同じように交互にバッグを投げます。その際に、前のラウンドで得点を取得したチームが先攻で、投げるポジションは前のラウンドで負けたチームに選択権があります

### [得点計算方法]

- 21 点を先取したチームが勝ちとなります。(状況によっては 11 点先取も可)
- ホールに入った場合 = 3 点ボードの上に乗った場合 = 1 点
- 1 ラウンド毎の両チームの合計得点の差を、得点の高かったチームが取得します。
- ボードに乗っている相手チームのバッグに当てて穴に入れた場合、自分のチームの得点になります。
- 次の場合は得点になりません
- バッグを投げるときにスローイングラインを踏み越えた場合
- バッグがボードから落ちた場合バッグが床面に触れている場合
- 相手チームによってバッグがボードから落とされた場合

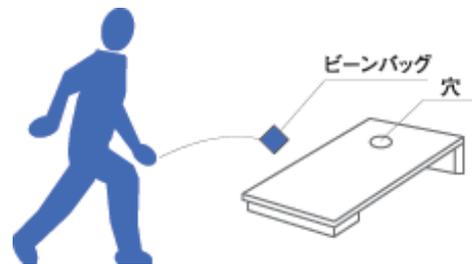


## ★コートについて

ボード間の距離を年齢やレベルに応じて決めます。

[距離の目安]

2m40cm (2~4 歳) / 3m60cm (5~8 歳)  
4m50cm (9~12 歳) / 5m40cm / 13 歳以上  
6m00cm (正式競技)



## ★その他

- ◎ 競技時間や何点先取にするかなど自由にアレンジができます。
- ◎ 遠くまで投げられない場合は距離を短くしてみましよう。
- ◎ 通常の遊びのほか、ボードにどちらが多く入ることができるか競い、穴に入れたらマイナス得点、ボードの上に乗ったままだと得点など自由にアレンジできます。

